

考查で問われる日常生活と常識

小学校受験 自ら感じ取る体験学習

～見て、聞いて、話して、歩いて、触って覚えよう～

☆この講習はご都合にあわせて1回ずつ受講できます☆

小学校受験の常識問題領域は日常生活からの出題がペーパー・口頭試問ともに多くみられます。これは普段の生活における様々な事象にお子さまがどのような興味を持ち、また注意をしているか問うものです。この講習ではいつも何気なく通り過ぎてしまっている自然、日用品、食べ物、交通、身の安全に関わることなどをあらためて実際に体験することによって、名称や意味、方法、的確な行動と方法を覚え体得していただきます。公共の交通機関を利用して毎日通う小学校生活において非常に重要なことですので多くの小学校で出題されていると考えます。

雨天決行

集合（①②ともに） 自由が丘駅ロータリー口 改札口前

解散 自由が丘TFS 保護者は終了20分前に教室にお入りください

- ① 道路の安全な歩き方 大切な標識 信号 障害者のためにあるもの
電車の踏み切り スーパーの品物（野菜 果物 魚 肉）
数詞 実際に買い物（レジでのやりとり お金の授受）
- ② 駅の中（障害者のためにあるものと安全に関するものの発見と確認）
ホームで待つとき ホームにあるもの 電車の乗り降り
電車の中 道路の安全な歩き方 信号 公園遊びの注意
バス停で待つとき バスの乗り降り バスの中

日時	① 7/28（土）	9:00～11:00	2時間
	② 8/18（土）	〃	
定員	各回6名		
指導	TFS本部長 飯田雅也 ほか 計2名		

①、②の内容は異なります

※この講習は終了20分前から保護者に説明をいたします